

ブレストインプラントガイドライン管理委員会

委員長：森 弘樹

担当理事：武田 啓

委員：岩平 佳子、窪田 吉孝、白石 知大、棚倉 健太、寺尾 保信
富田 興一、原岡 剛一、三鍋 俊春、山川 知巳

活動の概要：

1. 日本形成外科学会ほか3学会が連名で2019/6/7に日本初のBIA-ALCLを公式発表したが、同内容の英文書を作成し、2019/6/27に世界登録機構であるPROFILEに送付した（三鍋前委員長）。
2. 先天異常のポーランド症候群、乳房胸部癒痕（術後癒痕、癒痕拘縮、熱傷癒痕）について、乳房インプラントの保険適応を目指して当該疾患の診断基準と適応基準を作成し、外保連への「適応拡大」項目として提出した。現時点では適応には至らず継続課題である。
3. 2019年5月15日 日本形成外科学会総会（山本有平会長）会期中に2019年度講習会を開催し、参加者は89名であった。
4. 2020年3月に実施施設更新を行い、86施設中72施設更新となった。合併症数をHPで公開した。
5. 2020年6月末において実施医師は153名、実施施設認定は73施設である。
6. 2020年度講習会はe-learningで行うこととした。

司会 森 弘樹、寺尾保信

1. 使用要件基準（ガイドライン）の概略 森 弘樹
2. 製品紹介およびインフォームドコンセントについて 中村みどり（アラガン）
3. 外傷・先天異常に対する乳房再建術とBIA-ALCLの概略 白石知大
4. 乳房増大術 矢永博子